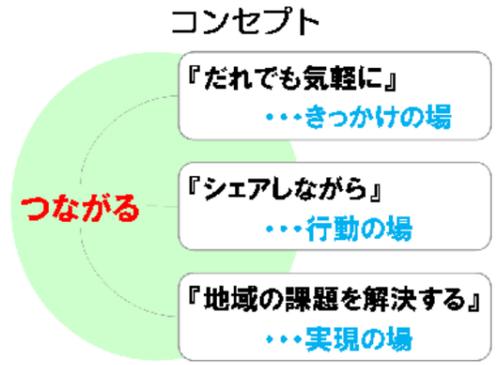




平成27年度に予定されている新しい市民交流施設のオープンに向け、平成25年度には、集約される3施設の関係者によるワークショップと、100人ワークショップを計6回開催し、基本コンセプトや施設の役割、活用方法等について意見を出し合い、その成果を共有してきました。

平成26年度は、いよいよ施設の実現に向け、「センターの使い方」「センターが提供するサービス」「オープンをどのように迎えるか」といったテーマを設定し、多様な方々に参加していただく中で、運営のより具体的な内容を話し合うワークショップを開催していきます。



Step1「センターの使い方について考える」

開催日：平成26年7月22日(火)
会場：小田原市保健センター大会議室
参加人数：63人(市民56人、スタッフ6人、講師1人)

このワークショップでは、(仮称)市民活動交流センターの望ましい使い方について、利用者の視点で意見を出してもらい、グループワークを踏まえて参加者間で思いを共有するとともに、施設を使用する上での基本的事項を整理するために開催しました。



第1部 ミニ講演 相模原市立市民大学交流センター(ユニコムプラザさがみはら)の機能と運営について



講師：伊藤 晃氏 (相模原市立市民大学交流センター「ユニコムプラザさがみはら」所長)

「大学との連携による新たな地域活動・市民活動の創造」をコンセプトに設置されたユニコムプラザ。この施設の利用例、運用ルール、利用促進活動、ポリシーなどについてお話しいただいた。

参加者のアンケートでは、「行ってみたい」「規模は違うが小田原でも参考にできることがありそう」「すばらしい施設でうらやましい」「市、大学、企業との連携がすばらしい」という意見があった一方、「問題点や苦労した話を聴きたかった」「小田原のカラーではない」「政令指定都市ならではの施設」などの意見もあった。

多くの参加者にとって、小田原にできる新しい施設で何ができるかを、より身近に考えるきっかけになったと思われる。



第2部 ワークショップ「新しい施設の使い方」

アイスブレイク 「私の好きなテーマカフェを作ろう」

ワークショップ会場の広さを想定したスペースに、自分が経営してみたいカフェ、あったら行ってみたいカフェなど、自分が居心地よいと感じるテーマカフェを考えてもらった。

ソファやテーブル等の家具、人物や食器、趣味などのカードから何枚か選んで「理想のカフェシート」を作成、5～6人のグループに分かれ、自己紹介も兼ねてそれぞれのカフェを発表した。

理想のカフェを通して、自分にとってどんなことが居心地がよいかを考えてもらい、次のグループワークへとつなげた。



グループワーク 「オープンスペースで起きてほしいこと、起きてほしくないこと」

起きてほしいことを青、起きてほしくないことを赤の付箋に書き出し、各自発表しながら模造紙に貼ってもらった。

さらにそれぞれの意見について分類したり賛同したりと、グループ内で意見を共有した。

どのグループも、起きてほしくないことより、起きてほしいことの付箋が多く貼られていたが、新しい施設に対する期待を感じた。

ワーク終了後、各テーブルの模造紙を見て回り、他のグループでどういった意見が出ているかを知ってもらった。



グループワーク 「オープンスペースを使うために大切にしたいこと」

他のグループの意見も参考にしながら、ワークの付箋を分類、起きてほしいこと、起きてほしくないことに対して、何をすればよいか、そのためには何があるとよいかなどを話し合って整理した。

このワークでは、グループ替えを行わなかったこともあり、前半の雰囲気がそのまま持ち越され、どのグループも比較的スムーズに話し合いが進み、限られた時間内で各グループの「大切にしたいこと」が3つに絞り込まれた。最後に各グループが発表を行い、全体共有を図った。



～ワークショップ終了後、アンケートをお願いしました～ (回答:35人)

Q. 本日のワークショップの方法で、新しい施設の使い方に向けた有効な議論ができましたか。

・はい ... 30人(86%) ・いいえ ... 3人(8%) ・両方 ... 1人(3%) ・わからない ... 1人(3%)

理由・はい:

- ・いろいろな団体と交流ができてよかった。各団体の立場を少しながら理解することができた。
- ・参加者が、それぞれの立場の思いを伝えることができたのではないかと。
- ・色々な意見が出て良かった。具体的にこうしたい、という意見をたくさん出せた。 など

・いいえ:

- ・全体的に時間が少なく、十分な議論ができなかった。
- ・市ですでに決めている事ではないのか。

・その他:

- ・この議論がどうアウトプットされるかが気になる。
- ・学びはあり、よい勉強になったが、表面的で深い議論はなかった。

Q. 新しい施設では、活動スペースなどの予約のほか、市民活動団体の情報を把握し、活動の発展を支援するため登録・更新制度を設ける予定です。このことについてどう思いますか。

・必要 ... 29人(83%) ・不要 ... 1人(3%) ・わからない ... 5人(14%)

理由・必要:

- ・各団体が、活動の課題や見直しに対して意識を持ってもらうという点で、必要なのでは。
- ・規律を持たせるために必要。ただし完全予約制ではなく、手続きはシンプルに、個人利用にも対応してほしい。
- ・中間支援団体は、利用団体の最低限の活動情報を把握すべき。
- ・既得権など問題になりがちなので、特定の団体のための施設にならないように注意してほしい。
- ・同じ分野など、他の団体の状況が知ることができればよい。 など

・不要:

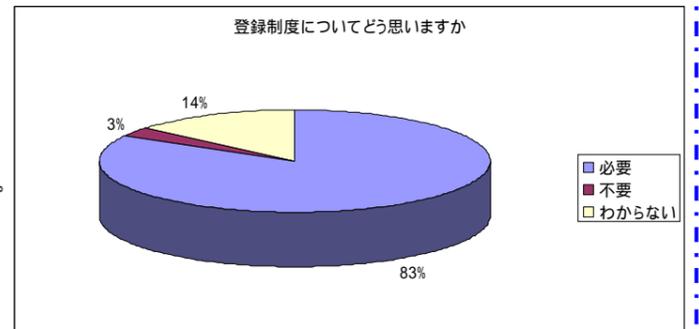
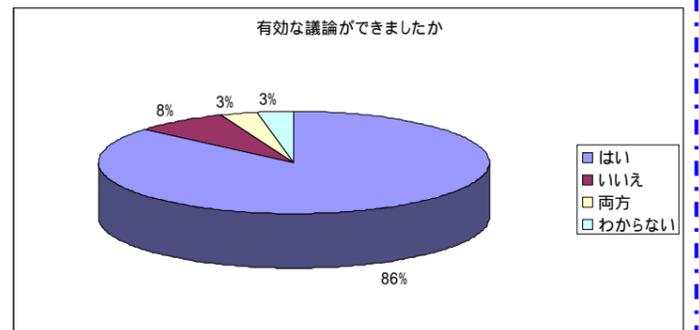
- ・登録制度は必要だとは思いますが、あまりカチカチでは使いづらい。

・わからない:

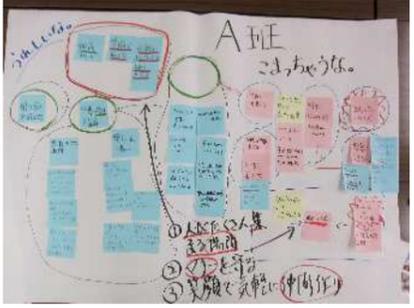
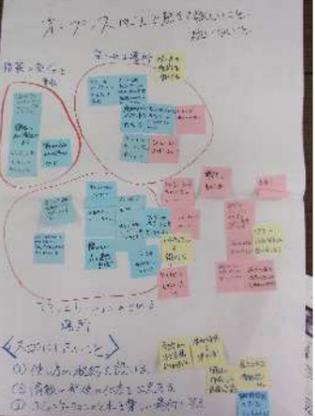
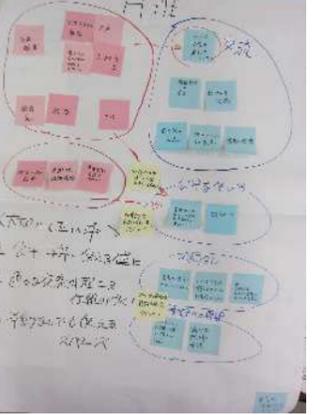
- ・活動スペース、ロッカー使用以外での登録制度の必要性が、イメージできない。

Q. 今後のワークショップやセンターへの要望など、自由にお書きください。

- ・だんだん面白くなってきた。もっと周知し、大勢集めるといい。興味がない人にも宣伝して、来てもらい、多様な人の意見を取り入れて、センターのソフト面が作り上げられれば良い。
- ・行政側から「たたき台」を出していただき、テーマごとの議論をつめていった方が深まった議論が交わされるのではないかと。
- ・予約については画一的にルールを決めないほうがよい。従来の活動が続けられるよう考慮していただきたい。
- ・他の施設にはない魅力的な設備がほしい。新しい施設のオープンが、おだわらの発展の大きなステップになるとよい。
- ・このワークショップでの議論が今後どう生かされて行くのか、多くの人に見えるようにしてほしい。どのようにまとめて、どのように発信されるのかが楽しみ。
- ・こういったワークショップも有意義だが、それだけでなく、懇親会等を行うことにより、各団体の方がよりよい関係を築ききっかけになるのではないかと。 など



グループワークで出た意見・大切にしたいこと

<p>A班</p>  <p>起きてほしいこと(うれしいな) 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談できる ・誰でも気軽に来られる ・行事の情報を共有 ・交流ができる、出会いがある ・イベント・コンサート <p>起きてほしくないこと(こまっちゃうな) 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非難する、じゃまをする ・うるさい(話し声、楽器の音) ・目的の違う人のたまり場になる ・場所の占有、一日中勉強 <p>(大切にしたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人がたくさん集まる場所 ・マナーを守る ・笑顔で気軽に仲間作り 	<p>B班</p>  <p>起きてほしいこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集と発信 ・自分達の活動をアピールしたい ・興味のある情報がある ・楽しめる場所 ・講演会や演奏会 ・一人でふらっとはいれる ・コミュニケーションのとれる場所 ・人の輪が広がる ・隣の活動に参加したくなる <p>起きてほしくないこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で入りづらい ・場所でもめる、不利益な事をされる ・うるさい、片付けない <p>(大切にしたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い方の規約を設ける(予約・使用時間) ・情報発信の仕方を工夫する ・コミュニケーションのとれる楽しい場所にする(期間限定カフェ等) 	<p>D班</p>  <p>起きてほしいこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる ・企業や教育機関、外国籍の人など ・どんどん登録してもらう ・交流 ・利用者の企画イベント ・企業内サークルの登録の呼びかけ ・活動 ・個室に近い使い方ができる ・大学生が小学生の学習支援 ・情報発信 ・活動の展示、発表の場 ・手作りの販売 <p>起きてほしくないこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や大声、子どもが騒ぐ ・飲食はNG(におい、片付けなど) <p>(大切にしたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすいルールをみんなでつくる ・みんなでマナーを守る。声をかける ・それぞれがそれぞれを思いやる 	<p>E班</p>  <p>環境の充実 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の性質にあった使い勝手 ・相談・経理の専門家 ・パーティションがある ・外国籍の人も気楽に来られる <p>×受付の感じが悪い</p> <p>利用しやすさ(予約) 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間おとしての予約ができる ・予約なしで使いたい ・気軽に活動できる <p>×キャンセルの連絡がない</p> <p>×利用時間を守らない ×場所争い</p> <p>利用者のマナー 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体との交流、知り合える ・安心して活動できる ×大声を出す ×他団体のジャマをする ・多様な情報が得られる ・人生観や趣味の広がり <p>最終目標: やさしい人になる</p>
<p>F班</p>  <p>起きてほしいこと(笑顔) 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフや利用者同士の気遣い ・笑顔 ・グループ同士の交流 ・掃除されている / ゴミを残さない ・ひとりでも来られる ・子ども用のスペース ・講演会やコンサートがある <p>起きてほしくないこと(困った) 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や大声、言い争い ・飲食、飲酒・タバコはNG ・長時間の利用 ・子どものケガ <p>(大切にしたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんからお年寄りまで ・ルールとマナー(思いやり) 	<p>G班</p>  <p>起きてほしいこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっかけ ・気軽に、ふらっと誰でも入れる ・バザーなども開催できる ・個人が勉強できる場所 ・地下街以外でも情報の提供を ・利用者間で交流が深まり新しい団体が生まれる <p>起きてほしくないこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・占有: 長時間ずっといる ・利用者が固定されてしまう ・騒音: 話し声や音がうるさい ・音楽は制限する ・飲酒の禁止(飲酒は有料会議室で) <p>(大切にしたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人に使ってもらうのだが、本来の目的を忘れないこと ・ゆずり合いの気持ち ・入りやすい雰囲気づくり 	<p>H班</p>  <p>起きてほしいこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流 ・小さな子どもも連れて行ける ・和やかな交流 ・世代間、団体、情報の交流 ・公平 ・公平なルール ・インターネット、電話で予約できる ・予約なしで使えるスペース ・適切な照明やパーティションの使用 <p>起きてほしくないこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食(におい)、飲酒、タバコ ・大きな声 ・常連団体の既得権 ・他グループの強要 <p>(大切にしたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平・平等に使えるように ・色々な交流が起こる仕組みづくり ・予約なしでも使えるスペース 	<p>I班</p>  <p>起きてほしいこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・つながりたい団体が見つかる ・自分達の活動を知ってもらう場 ・公平運営、全団体が大切にされる ・交流 ・他団体、人との交流がしやすい ・支えあう、理解しあう、助け合う ・心得・マナー ・譲り合い、気遣い ・ハード ・印刷・コピー、PCなど ・子連れやバリアフリーな活動など ・イベント準備 ・使い方ルール ・個人、自由、使いたいときに使える <p>起きてほしくないこと 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心得・マナー ・子どもの放置、大声 ・占有や取り合い ・使い方ルール ・登録でないと使えない <p>(大切にしたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の充実 ・情報の充実と発信 ・ルールとマナーの徹底

ワークショップStep1 ~ふりかえり~

・参加者一人ひとりの思いをグループワークでまとめ、発表を通じて全体共有した様々な大切にしたいこと の意見をまとめさせていただきました。

<p>ルールとマナー が守れる環境を 作る</p>	<p>予約可能な場所 と予約なしでも使 えるスペースを設 ける</p>	<p>他の利用者と交 流できる仕組みを 作る</p>	<p>魅力があり、誰 でも入りやすい雰 囲気とする</p>
--	--	---	--

次回のワークショップは10月に開催する予定です!!

実現に向けて運営を考えるワークショップの第2回目は、「センターが提供するサービス」をテーマに開催します。

今まで3施設で行ってきた事業を改めて考えながら、新しい施設には何を期待するか、どのような事業を実施してほしいかなど、ぜひ具体的な意見や提案を出していただきたいと考えています。

<p>Step1 センターの 使い方 7月22日実施</p>	<p>Step2 センターが 提供する サービス</p> <p>10月実施予定</p>	<p>Step3 オープン を どのように 迎えるか</p>	<p>新施設 オープン</p>
--	--	--	---------------------

※各回のテーマは変更する場合があります